

12 財 務

1. はじめに

本法人は、平成23年4月1日に地方独立行政法人法に基づく公立大学法人となり、今期が第2期中期計画の初年度にあたる第7期目の決算となります。

公立大学法人の会計基準は、企業会計を基本としながらも、主たる業務内容が教育・研究であり、利益の獲得を目的としないなどの特殊性を考慮した「地方独立行政法人会計基準」に基づき作成されるもので、県民をはじめとする利害関係者に、法人の財政状態や運営状況を明らかにするために、作成が義務付けられています。

第34条第1項では、毎事業年度終了後3ヶ月以内に、財務諸表（貸借対照表、損益計算書、利益の処分又は損失の処理に関する書類等）を、設立団体の長に提出し、承認を得なければならないとされており、また第3項では、設立団体の長は、財務諸表を承認しようとするときは、あらかじめ評価委員会の意見を聴かなければならないとされています。

平成29年度の財務諸表上の表記は下記となっております。

法人を構成する高知県立大学、高知短期大学、高知工科大学及び法人本部については、法人本部、高知県立大学（高知短期大学を含む）、高知工科大学の3セグメントに区分し、貸借対照表及びキャッシュ・フロー計算書は県立大学単独の表記、損益計算書上は区分ごとに開示しております。

行政サービス実施コスト計算書は法人全体の数値を表示することとなります。

2. 貸借対照表

貸借対照表は、平成30年3月31日現在の、全ての財産（資産、負債・純資産）の状況を示した書類です。

平成29年度の資産総額は、

固定資産が 65億9千9百万円 (95.5%) 流動資産が3億 8百万円 (4.5%)

合計 69億 7百万円 (100.0%) となっております。

固定資産が資産の95.5%を占め、このうち県からの出資財産（土地、建物）が、53億7千3百万円で資産全体の77.8%を占めております。

負債の総額は、10億5千5百万円となっております。

固定負債が 8億1千7百万円

（うち資産見返負債¹ 7億8千2百万円 負債全体の74.1%）

流動負債が 2億3千7百万円

（うち短期寄附金債務 3百万円 同 0.28%）

¹資産見返負債：運営費交付金・寄附金・無償譲与・補助金等の財源で取得した固定資産の見合いで負債に計上され、固定資産の減価償却に伴って、資産見返負債戻入という収益に振替られるもので、資産・負債を均衡させるために必要なものです。

負債総額のうち、資産の見返として計上し、減価償却処理により費用が発生する都度、取り崩して収益化する資産見返負債が7億8千2百万円と負債全体の74.1%を占め、使途特定寄附金収入のうち来期以降に使用する予定の短期寄附金債務が、3百万円で、0.28%となっています。

純資産の総額は58億5千2百万円で、内訳は
資本金（県からの出資金）が61億6千7百万円、資本剰余金が△4億円
利益剰余金が8千6百万円（うち当期末処分利益5千3百万円）となっております。

貸借対照表における主な変更点は以下のとおりです。

（資産の部）

1	建物附属設備	永国寺キャンパス新学生会館セキュリティシステム	2百万円
2	工具器具備品	永国寺キャンパス新学生会館情報ネットワークシステム	3百万円
		ナーシングアンシミュレータ	2百万円
		呼吸音聴診シミュレータ	2百万円
3	リース工具器具備品	高速カラープリンター	5百万円
4	美術品	永国寺キャンパス寄付受入	9百万円

（負債の部）

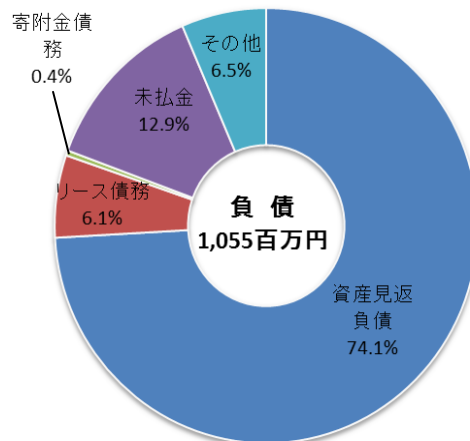
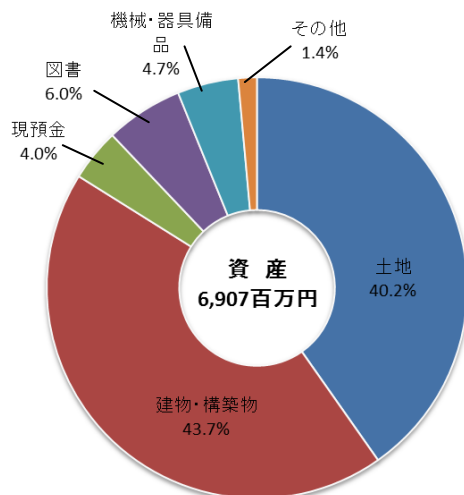
1	長期リース債務	高速カラープリンター	4百万円
---	---------	------------	------

貸借対照表の概要

(単位：百万円)

資産の部	固定資産	有形固定資産	土地	2,780	負債の部	固定負債	資産見返負債	782
			建物	2,944			長期寄附金債務	0
			構築物	70			長期リース債務	35
			機械装置	34			資産除去債務	0
			工具器具備品	290			小計	817
			図書	411		流動負債	寄附金債務	3
			車両運搬具	2			未払金	136
			美術品・収蔵品	24			その他の流動負債	98
			小計	6,558			小計	237
		無形固定資産	39	合計③		1,055		
	投資その他の資産	1	純資産の部	資本金	6,167			
	合計①	6,599		資本剰余金	△ 400			
	流動資産	現金及び預金		277	利益剰余金	86		
		その他の流動資産		31	合計④	5,852		
		合計②	308					
資産合計①+②				6,907	負債純資産合計③+④		6,907	

※百万円未満切捨て



2

² グラフの作成に当たっては、各項目の金額を百万円未満切り捨ての数値ではなく、実数をもとに算出しています。損益計算書のグラフも同様です。

3. 損益計算書

損益計算書は、当期に発生した目的別費用とそれに対応する収益構造を記載した計算書です。
経常費用の総額は、24億5千7百万円で、内訳は業務費が23億2千2百万円で、一般管理費が1億3千3百万円、支払利息等の財務費用が1百万円となっています。

業務費23億2千2百万円の内訳は、

教育研究経費	7億1千9百万円 (対経常費用 29.3%)
教育経費	4億4千7百万円
研究経費	1億4千7百万円
教育研究支援経費	1億2千5百万円
受託研究等経費	1千9百万円 (対経常費用 0.8%)
受託研究費等	9百万円
受託事業費等	1千 万円
人件費	15億8千2百万円 (対経常費用 64.4%)

※受託研究・事業費に参入した人件費を除く

人件費が経常費用に占める割合は、64.4%となっております。

経常収益の総額は、25億1千1百万円で、内訳は

運営費交付金収益	14億 4百万円 (対経常収益 55.9%)
授業料等収益	8億1千 万円 (同 32.3% 授業料、入学金、検定料収入を含む)
受託研究等収益	2千4百万円 (同 1.0% 受託事業等収益含む)
寄附金・補助金収益	1億 4百万円 (同 4.1%)
資産見返負債戻入	1億 4百万円 (同 4.1%)
財務収益・雑益	6千 万円 (同 2.4%)

経常収益から経常費用を差し引いた 経常利益は、5千3百万円 となりました。

目的積立金取崩額は計上されていないため、当期総利益も5千3百万円 となっています。

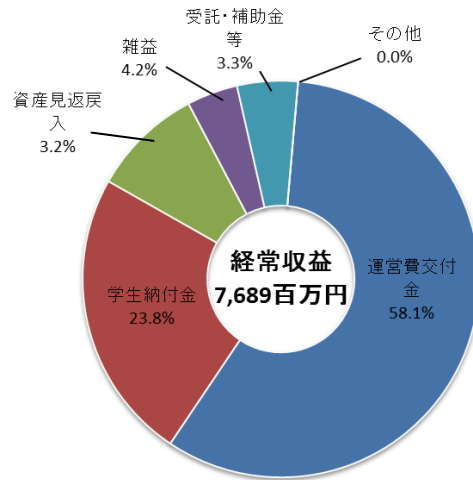
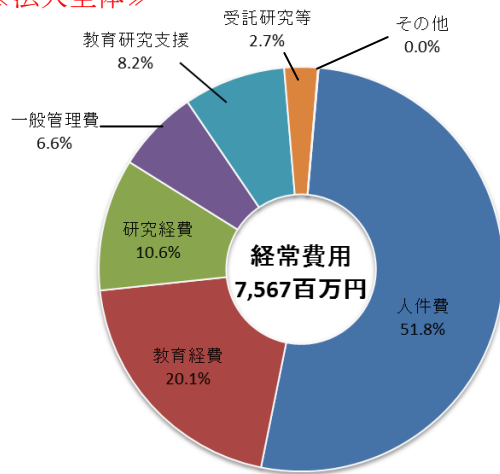
損益計算書の概要

(単位：百万円)

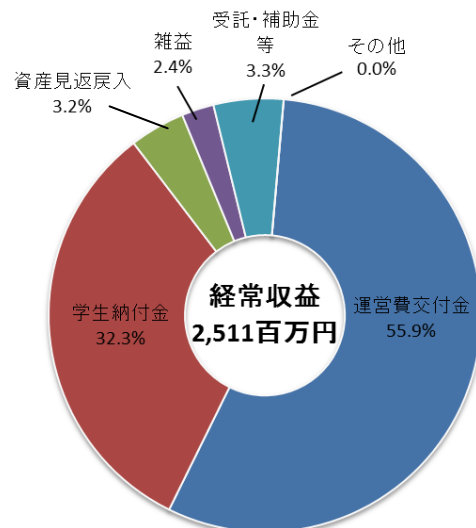
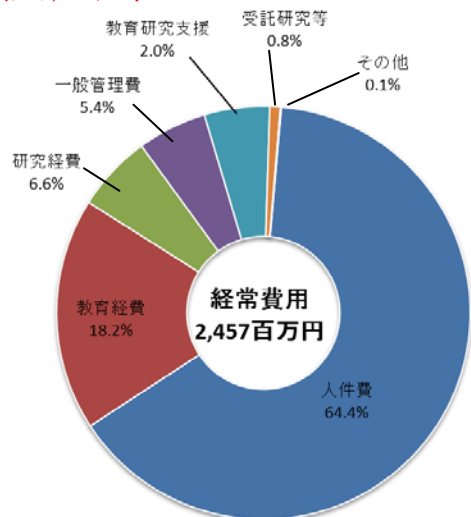
勘定科目		県立	工科	法人本部	法人全体	勘定科目						
						県	工	法人本部	法人全体			
経常費用	業務費	教育経費	447	1,076		1,523	経常収益	運営費交付金収益	1,404	2,996	62	4,463
		研究経費	147	652		799		授業料収益	706	804		1,510
		教育研究支援経	125	491		617		入学料収益	84	157		242
		受託研究費	9	169		178		検定料収益	20	52		73
		受託事業費	10	13		24		受託研究等収益	12	172		185
		役員人件費			9	9		受託事業等収益	12	13		26
		教員人件費	1,162	1,696		2,858		寄附金収益	29	44		74
		職員人件費	420	621	9	1,052		補助金等収益	75	19		95
		合計	2,322	4,721	19	7,063		資産見返負債戻	104	592		697
	一般管理費	133	322	44	500	財務収益					0	
	財務費用・雑損	1	1		3	雑益		60	255	3	320	
合計	2,457	5,046	63	7,567	合計	2,511	5,110	66	7,689			
当期総利益		53	64	3	121	目的積立金取崩額						

※百万円未満切捨て

《法人全体》



《高知県立大学》



4. その他の主要諸表

① キャッシュ・フロー計算書

損益計算書は発生主義により作成されるため、資金の状況とは一致しないことから、資金の状況を把握するために、業務活動、投資活動、財務活動の区分から、当期の資金収支の状況を示した書類がキャッシュ・フロー計算書です。なお、当期末の資金残高は、2億7千7百万円です。

キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	104
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 83
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 30
IV 資金増減額	△ 10
V 資金期首残高	287
VI 資金期末残 合併による資金の増加額	0
VII 資金期末残高	277

※百万円未満切捨て

② 利益の処分に関する書類

利益の処分に関する書類は、損益計算上の利益の処分を明らかにするための書類です。公立大学法人における利益処分方法は、公立大学法人が効率的・効果的に事業を実施し、自己収入の増加あるいは費用の節減等により生じた利益として、設立団体の長が承認し翌事業年度以降に大学で自由に用途を決定できる「目的積立金」と翌事業年度以降の損失の補填のみに用途が限定された「積立金」として処分する方法があります。

③ 行政サービス実施コスト計算書（法人全体）

行政サービス実施コスト計算書は、損益計算書上の費用に加え法人運営上コストとなっている損益外減価償却費や機会費用等を計上することにより、県（県民）が負担している全コストを明らかにするための書類です。当年度の実質的成本は、59億5千4百万円です。

行政サービス実施コスト計算書の概要

(単位：百万円)

I 業務費用	4,839
(1) 損益計算書上の費用	7,567
(2) 自己収入等	△2,728
II 損益外減価償却相当額	327
III 引当外賞与増加見積額	6
V 機会費用	767
VI 行政サービス実施コスト	5,954

※百万円未満切捨て

5 外部資金導入の状況

(1) 科学研究費助成事業交付状況

【科学研究費助成事業交付実績】

(単位:千円)

研究種目	学部	役割	職名	氏名	研究題目	新規・継続の別	研究期間	～H28		H29		H30～(予定)		総額(予定含む)	
								直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費
基盤研究A	看護	研究代表者	教授	野嶋 佐由美	災害時における家族レジリエンスを促す看護支援モデルの構築と活用	継続	H26～H29	23,300	6,990	7,800	2,340	0	0	31,100	9,330
基盤研究A 小計								23,300	6,990	7,800	2,340	0	0	31,100	9,330
基盤研究B	看護	研究代表者	教授	南 裕子	地球規模課題の解決とパラダイムシフトをもたらす災害看護学の構築	新規	H29～H31	0	0	4,000	1,200	7,000	2,100	11,000	3,300
		研究代表者	教授	中野 綾美	命に向き合う子どもと親のエンド・オブ・ライフへの看護支援モデルの構築と活用	新規	H29～H32	0	0	4,600	1,380	8,400	2,520	13,000	3,900
		研究代表者	准教授	佐東 美緒	医療的ケアが必要な在宅療養中の子どもと家族の災害に備えた協働支援プログラムの開発	新規	H29～H32	0	0	2,000	600	5,300	1,590	7,300	2,190
		研究代表者	准教授	ガン ランドウ	Participatory, Social Transformational Community Health Action for Prevention of Malaria and Communicable Diseases in Democratic Republic of Congo	新規	H29～H31	0	0	5,100	1,530	4,200	1,260	9,300	2,790
		研究代表者	教授	藤田 佐和	がん認知症を併せもつ高齢がん患者の緩和ケアと認知症ケアの統合ケアモデルの開発	継続	H28～H31	3,200	960	2,300	690	4,400	1,320	9,900	2,970
		研究代表者	准教授	神原 咲子	平時の地域モニタリング機能を有する減災看護モデルの構築	継続	H26～H29	7,100	2,130	900	270	0	0	8,000	2,400
	社会福祉	研究代表者	教授	丸山 裕子	ハイリスクな状態にある利用者システムへのコンピテンス思考実践過程支援モデルの研究	継続	H27～H29	5,400	1,620	1,800	540	0	0	7,200	2,160
基盤研究B 小計								15,700	4,710	20,700	6,210	29,300	8,790	65,700	19,710
基盤研究C	文化	研究代表者	准教授	宇都宮 千穂	移住促進政策と「移住の失敗」の実態調査	新規	H29～H31	0	0	500	150	1,000	300	1,500	450
		研究代表者	教授	吉川 孝	古社寺保存法時代の特別保護建造物の修理における設計変更の概念の生成とその確立	新規	H29～H31	0	0	900	270	1,400	420	2,300	690
		研究代表者	准教授	金澤 俊吾	英語の事象修飾に見られる、形式と意味との対応関係とその規則性について	継続	H28～H30	500	150	500	150	500	150	1,500	450
		研究代表者	教授	三浦 要一	古社寺保存法時代の特別保護建造物の修理における設計変更の概念の生成とその確立	継続	H28～H30	700	210	600	180	600	180	1,900	570
		研究代表者	准教授	高西 成介	周縁テキスト(注釈・翻訳)の自立性をめぐる歴史的・理論的研究	継続	H27～H29	2,200	660	1,100	330	0	0	3,300	990
		研究代表者	講師	飯高 伸五	ミクロネシアの太平洋戦争戦跡のレジャー化とヘリテージ化に関する慣行人類学的研究	継続	H27～H29	1,500	450	600	180	0	0	2,100	630
		研究代表者	准教授	菊池 直人	生命保険契約における被保険者の地位についての比較的研究	継続	H27～H29	1,000	300	500	150	0	0	1,500	450
	看護	研究代表者	講師	井上 正隆	地方都市でのクリティカルケア看護熟達者の発展的相互学習システムの構築	新規	H29～H31	0	0	1,400	420	2,100	630	3,500	1,050
		研究代表者	教授	瓜生 浩子	家族看護実践における倫理調整力強化のためのモデルと教育ツールの開発	新規	H29～H31	0	0	1,400	420	2,200	660	3,600	1,080
		研究代表者	助教	田之頭 恵里	生体肝移植を受けた子どものレジリエンスを高める看護実践ガイドラインの開発	新規	H29～H31	0	0	1,000	300	1,300	390	2,300	690
		研究代表者	准教授	川上 理子	独居高齢者のエンド・オブ・ライフ期の在宅療養を支える多職種協働プログラム開発	新規	H29～H31	0	0	1,400	420	1,900	570	3,300	990
		研究代表者	准教授	森下 幸子	新卒訪問看護師と学習支援者の期待不一致を解決する学習支援プログラムの構築	新規	H29～H31	0	0	1,300	390	1,800	540	3,100	930
		研究代表者	教授	池添 志乃	発達障害のある子どもと家族の就学期の移行を支える看護ケアモデルの構築	新規	H29～H31	0	0	1,700	510	1,800	540	3,500	1,050
		研究代表者	教授	時長 美希	脆弱性を有する生活困窮者へのマージナルケアモデルの構築	新規	H29～H31	0	0	1,200	360	2,200	660	3,400	1,020
		研究代表者	准教授	森本 悦子	地域一般病院に入院する後期高齢がん患者への複合的な外来看護支援モデルの構築	継続	H28～H30	1,100	330	800	240	800	240	2,700	810
		研究代表者	教授	長戸 和子	糖尿病患者・家族の「家族マネジメント」に即した看護介入の実践に関する研究	継続	H28～H30	1,300	390	900	270	1,300	390	3,500	1,050
		研究代表者	講師	有田 直子	血液・腫瘍疾患を持つ青年が親と行うSDMを支える看護介入プログラムの効果	継続	H28～H30	1,400	420	1,200	360	1,000	300	3,600	1,080
		研究代表者	講師	高谷 恭子	発達障がいをもつ思春期の子どもと親が辿る軌跡を説明できるモデルの構築	継続	H28～H30	1,300	390	1,300	390	1,000	300	3,600	1,080
		研究代表者	教授	田井 雅子	統合失調症者の自我機能に注目するセルフマネジメント促進の看護ケアモデル	継続	H28～H30	1,100	330	1,000	300	800	240	2,900	870
		研究代表者	助教	小原 弘子	在宅療養ケアにおける訪問看護師の判断とケアのガイドラインの開発	継続	H28～H30	500	150	500	150	500	150	1,500	450
		研究代表者	助教	小澤 若菜	中小規模事業場のボリュエーションヘルスマネジメントモデルの構築	継続	H28～H30	1,200	360	1,100	330	1,000	300	3,300	990
		研究代表者	准教授	渡邊 聡子	妊婦を対象とした「災害への備え」を促す介入プログラムの効果検証	継続	H27～H29	0	0	500	150	0	0	500	150
		研究代表者	助教	岩崎 順子	低出生体重児を抱える母親のMCを育成する看護介入プログラムの開発	継続	H27～H29	2,800	840	800	240	0	0	3,600	1,080
		研究代表者	准教授	嶋岡 暢希	多胎児を育てる夫婦のMastery獲得を支える看護援助プログラムの構築	継続	H27～H30	1,700	510	1,100	330	800	240	3,600	1,080
		研究代表者	教授	竹崎 久美子	認知症高齢者の術後安静をより安楽に保つためのケアガイドライン	継続	H27～H29	1,900	570	500	150	0	0	2,400	720
		研究代表者	教授	池田 光徳	在宅看護における褥瘡重症度予測スコアの開発と遠隔褥瘡ケア支援システムの構築	継続	H27～H29	2,500	750	1,100	330	0	0	3,600	1,080
		社会福祉	研究代表者	教授	杉原 俊二	4テーマ分析法を用いた虐待予防「虐待リスク」を抱える保護者支援法(2)	新規	H29～H31	0	0	800	240	900	270	1,700
	研究代表者		教授	宮上 多加子	中堅介護職員の循環型経験学習を促すメンタリングの様相	新規	H29～H31	0	0	1,100	330	1,800	540	2,900	870
	研究代表者		講師	三好 弥生	介護者による高齢者の看取り期食事ケアモデル構築に向けた実証的研究	継続	H28～H30	300	90	400	120	200	60	900	270
	研究代表者		講師	嶋岡 亜紀子	ホームヘルパーが生活援助サービスのなかで用いる援助方略の可視化	継続	H28～H30	800	240	1,000	300	800	240	2,600	780
	研究代表者		准教授	鈴木 孝典	内科的管理を要する疾患をもつ高齢精神障害者のセルフケア機能評価支援ツールの開発	継続	H28～H30	700	210	900	270	1,100	330	2,700	810
	研究代表者		准教授	中島 洋	長野県社会部厚生課長としての原崎秀司の職務内容とホームヘルプ事業化との関連	継続	H28～H30	1,300	390	700	210	800	240	2,800	840
	研究代表者		講師	河内 康文	EPA介護福祉士の介護現場における経験からの学びに関する研究	継続	H28～H30	500	150	700	210	300	90	1,500	450
研究代表者	教授		横井 輝夫	ことばと自己認識の喪失過程で認知症者の認識世界に何が起きていくのか?	継続	H27～H30	0	0	600	180	500	150	1,100	330	
研究代表者	准教授		山村 靖彦	社会的孤立の防止に資する社会関係資本の形成と評価:弱いつながりに関する実証的研究	継続	H27～H30	1,300	390	700	210	1,000	300	3,000	900	
研究代表者	教授		田中 きよむ	「小さな拠点」を軸とする共生型地域づくりその形成要因の分析と持続モデルの構築	継続	H27～H29	2,600	780	1,000	300	0	0	3,600	1,080	

研究種目	学部	役割	職名	氏名	研究題目	新規・継続の別	研究期間	～H28		H29		H30～(予定)		総額(予定含む)	
								直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費
基盤研究C	健康栄養	研究代表者	准教授	鈴木 麻希子	新規卵白アレルゲンL-PGDSの高感度定量法の開発と低アレルゲン化	継続	H27～H29	2,800	840	800	240	0	0	3,600	1,080
	地域教育研究センター	研究代表者	講師	野辺 陽子	社会的養護の自治体間格差の実体と要因に関する社会学的研究－量的・質的比較分析	新規	H29～H31	0	0	1,300	390	1,900	570	3,200	960
		研究代表者	准教授	鈴木 康郎	アジア非英語圏における小学校英語の実施に関する実証的比較研究	新規	H29～H31	0	0	1,000	300	2,300	690	3,300	990
		研究代表者	教授	宇野 浩三	教師の住教育力解明とその向上・支援方策確立のための実践的研究	継続	H26～H29	2,900	870	500	150	0	0	3,400	1,020
基盤研究C 小計								35,900	10,770	36,400	10,920	35,600	10,680	107,900	32,370
挑戦的萌芽研究	看護	研究代表者	准教授	大川 宣容	家族の体験を基礎としたクリティカルケアにおける非喫煙ケアガイドラインの開発	継続	H28～H30	900	270	700	210	800	240	2,400	720
		研究代表者	教授	中山 洋子	伏原原発事故によって長期化した避難生活が住民の「生きる力」に及ぼす影響	継続	H28～H29	1,400	420	1,100	330	0	0	2,500	750
挑戦的萌芽研究 小計								2,300	690	1,800	540	800	240	4,900	1,470
研究活動スタート支援	看護	研究代表者	助教	原田 圭子	積雪寒冷地における地域在住高齢者の閉じこもり要因と支援	新規	H29～H30	0	0	1,100	330	400	120	1,500	450
		研究代表者	助教	瀧 めぐみ	行動制限最小化における多職種間の倫理調整プロセスモデルの作成	新規	H29～H30	0	0	1,100	330	1,000	300	2,100	630
		研究代表者	助教	高樽 由美	1型糖尿病患者のresilienceを高める教育プログラム効果の検討	継続	H28～H29	1,100	330	300	90	0	0	1,400	420
		研究代表者	助教	山口 智治	成人期のDMAD療養者を内包する家族が直面する課題と効果的な看護支援方法の考察	継続	H28～H29	1,100	330	600	180	0	0	1,700	510
		研究代表者	助教	吉岡 理枝	非がん高齢者の家族介護者への在宅看取りの意味を引き出す訪問看護ガイドライン	継続	H28～H29	700	210	600	180	0	0	1,300	390
研究活動スタート支援 小計								2,900	870	3,700	1,110	1,400	420	8,000	2,400
若手研究B	文化	研究代表者	講師	オーバーグ アンドリュウ	An Alternative Philosophical Realist Conception of Self	新規	H29～H30	0	0	500	150	500	150	1,000	300
		研究代表者	准教授	清水 直樹	地方レベルの政治的景気循環：日本の都道府県レベルのデータ分析による実証研究	新規	H29～H30	0	0	600	180	500	150	1,100	330
	看護	研究代表者	助教	佃 雅美	トランジションを基盤としたICU新人看護師の看護実践能力向上支援プログラムの開発	新規	H29～H32	0	0	1,300	390	1,900	570	3,200	960
		研究代表者	助教	西内 舞里	妊娠期ケアにおける臨床判断に関する現行教育プログラムの開発	新規	H29～H31	0	0	900	270	1,100	330	2,000	600
		研究代表者	助教	井上 さや子	神経性やせ症患者の身体感覚の回復に向けた、精神看護ケアガイドライン	新規	H29～H31	0	0	1,100	330	2,100	630	3,200	960
		研究代表者	助教	庄司 麻美	肺がん患者の全人的呼吸困難間の看護アセスメントツールの開発	継続	H28～H30	500	150	600	180	300	90	1,400	420
		研究代表者	講師	渡邊 美保	高齢者のリロケーションを支援するケアガイドラインの開発	継続	H28～H31	800	240	900	270	1,100	330	2,800	840
		研究代表者	助教	川本 美香	大腸がん検診精密検査受診行動の促進に向けたケアガイドラインの開発	継続	H28～H30	800	240	500	150	500	150	1,800	540
		研究代表者	助教	榎本 香	精神科外来を拠点とした地域医療－入院医療に対するシームレスケアガイドライン	継続	H27～H29	2,200	660	700	210	0	0	2,900	870
		研究代表者	助教	鈴木 裕介	中山間地域で暮らす要介護高齢者の医療福祉ニーズに対する地域特性を勘案した支援方法	新規	H29～H31	0	0	1,700	510	600	180	2,300	690
	社会福祉	研究代表者	助教	加藤 由衣	省察的実践を志向したスクールソーシャルワーク現行教育方法の研究	継続	H27～H29	1,000	300	400	120	0	0	1,400	420
		研究代表者	助教	稲垣 佳代	精神保健福祉士がもつ就労イメージの変容プロセスと支援への影響に関する研究	継続	H26～H30	1,000	300	20	6	180	54	1,200	360
	健康栄養	研究代表者	助教	隅田 有公子	臨床の場で行われている経腸栄養剤の半固形化法の問題解析と標準化法の提案	新規	H29～H30	0	0	1,300	390	1,800	540	3,100	930
		研究代表者	講師	廣内 智子	発災後の避難所生活における栄養管理に関する研究－東日本大震災の食事	継続	H28～H29	1,500	450	500	150	0	0	2,000	600
研究代表者	助教	田中 守	高知県に自生する未利用天然資源の機能性評価－抗アレルギー活性を指標として－	継続	H28～H30	1,100	330	800	240	900	270	2,800	840		
若手研究B 小計								8,900	2,670	11,820	3,546	11,480	3,444	32,200	9,660
合 計								89,000	26,700	82,220	24,666	78,580	23,574	249,800	74,940

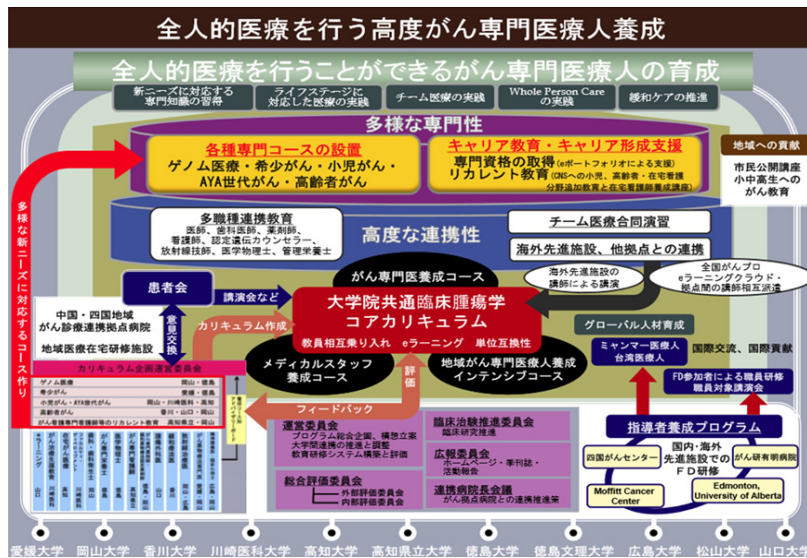
※ 平成29年度の実績報告があった研究について掲載し、職名は、実績報告の職名を記載

(2) 【「全人的医療を行う高度がん専門医療人養成」プロジェクト】

●事業目的

「全人的医療を行う高度がん専門医療人養成」プロジェクトは、中国・四国地方の岡山大学、香川大学、徳島大学、徳島文理大学、高知県立大学、高知大学、愛媛大学、松山大学、山口大学、広島大学、川崎医科大学の11の大学院と、35のがんセンター・がん診療連携拠点病院が参加する多職種の高齢がん専門医療人養成の教育プログラムです。平成19年度に始まりました「中国・四国広域がんプロ養成プログラム」から、平成24年度からの「中国・四国がんプロ養成基盤プログラム」を経て、平成29年度から第3期事業と発展しています。

平成29年度からの5年間行われる第3期事業では、第3期がん対策推進基本計画に盛り込まれるゲノム医療の実用化、小児および希少がんに対するがん医療、さらにAYA (Adolescent and Young Adult) 世代や高齢者などのライフステージに応じたがん対策など、新たな視点から優れたがん専門医療人を育成し輩出することを目指しています。



本学は、中国・四国広域がんプロコンソーシアムに参加し、がん高度実践看護師養成WGの幹事校として活動しています。最初の5年間は、岡山大学、徳島大学とともにがん看護専門看護師WGとして取り組み、コンソーシアム内のがん看護専門看護師養成の教育課程を整備し、中国・四国の看護職の進学を増やすとともに、チーム医療を推進していくがん看護専門看護師の存在意義や専門性、活動内容の理解促進に成果をあげてきました。平成24年度からは、広島大学と山口大学が加わった5大学のWGの幹事校として、がん高度実践看護師の養成をはじめ、インテンシブコースⅠ、インテンシブコースⅡを企画し、看護職の看護実践能力の向上に貢献してきました。

平成29年度からは、“小児がんの子どものケア”“高齢者がん患者の治療とケア”に焦点を当て、教育プログラムを実施しています。また、中国・四国の実情に沿ったライフステージの多様な新ニーズに応える看護の質向上を推進する看護師、質の高い高齢がん患者のケアを創造していく訪問看護師を養成する教育コースを、5大学との連携、地域の保健医療福祉の関連機関との連携体制を強化し、多職種の方々のご支援を得て開講いたします。子どもから高齢者までのライフステージやがんの特性を考慮して、Cancer Trajectoryをたどる人の新ニーズを捉えて対応することのできる高度実践看護師の育成や、すでに実践で活躍されている専門看護師や認定看護師の新ニーズに対応する力を高めるリカレント教育を新たに展開していきます。



●事業内容

担当教員

学部	職名	氏名
看護学部	教授	藤田 佐和
	教授	森下 利子
	教授	池田 光徳

事業費

年度	交付金額
平成29年度	8,560千円

●がん高度実践看護師教育課程におけるCNS養成と認定の実績

本学大学院看護学研究科では、平成10年度の開設当初より、21世紀の社会環境の変化に対応できる高度な看護の専門性が発揮できる人材育成を目的としたプログラムを用意してきた。現在、9領域の専門看護師コースと5領域の研究コースを設置し、高度な看護実践職者を育成している。また、平成28年度からは、新たに研究コースに成人看護学(慢性期)、小児看護学、地域看護学が加わり、これまでの家族看護学、看護管理学と合わせて5つの専攻領域となる。平成29年12月現在までに、がん看護専門看護師36名を含めて9領域99名の専門看護師を輩出してきた。

年度	入学者数	修了者数	CNS認定数
平成24年度	5	4	4
平成25年度	2	5	4
平成26年度	1	2	5
平成27年度	3	1	3
平成28年度	2	2	1
平成29年度	4	1	0

●インテンシブコースⅡ

平成24年度からスタートしたがん高度実践看護師WGでは、がん医療の実践現場において質の高いがん看護実践を推進していく中心的存在となる看護職を育成することを目的に、中国・四国のがん看護実践に携わる看護職の方を対象としたインテンシブコースⅡを企画しています。インテンシブコースⅡでは、5年間の全体テーマを「がん患者のライフステージの様々な新ニーズに応える高度な看護実践の展開」とし毎年テーマを変えて講演会を開催します。平成29年度は、年2回の講演会に参加して頂い35名に参加証明書を発行しました。

●がん高度実践看護師(APN)コースⅠ

本学看護学研究科博士前期課程がん看護学およびその他の領域のCNSコースの学生を対象に、がん高度実践看護師の養成および、がん看護をサブスペシャリティとする高度実践看護師の養成目指し、APNコースⅠを開講しました。

●がん高度実践看護師(APN)コースⅡ

専門看護師、修士課程修了生、がん看護、小児看護、老年看護に関連する認定看護師を対象に、小児から高齢者までのライフステージやがんの特性を考慮し、がんとともに生きる人とその家族の健康と生活に関わるニーズに応えられる、専門性の高い実践ができる看護師の養成を目指し、平成29年度は4科目合計60時間の講義・演習を開講し、5名が修了しました。

●がん高度実践看護師(APN)セミナー

本学が看護学領域を修了し、高知県内で活躍するがん看護専門看護師から、高度な看護実践の実際と6つの役割機能について学び、自己のがん高度実践看護師(APN)像を形成していく機会を得る

●がん看護学領域特別講義

本学看護学研究科のがん看護学領域では、大学院生や修了生を対象とした特別講義を開催している。特別講義では、修了生が後輩である大学院生や修了生に対して、修了後の役割開発のプロセスや日頃のOCNSとしての実践活動について語る機会を平成29年度は1回開催しました。

●チーム医療合同演習

11大学院のがんプロ大学院生が集まり、がん医療に関するテーマについて多職種でディスカッションを行うことで、チーム医療や多職種コミュニケーションの重要性についての学びを深めるチーム医療合同演習に参加しました。

●がん看護合同セミナー I

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムのがん看護専門看護師養成WGである5大学(高知県立大学・岡山大学・徳島大学・広島大学・山口大学)のがん高度実践看護師コースの大学院生を対象として、徳島大学が企画・運営を担当しているがん看護学合同セミナー I に参画しました。

●アストラルの会

高知県立大学大学院看護学研究科がん看護学領域修了生の会「アストラル」は、がん看護の質向上のための自己研鑽、情報交換、修了生のネットワークづくりの充実を図ることを目的として、①学習会の開催、②メンターシップ、③メーリングリスト等による情報共有、④学会参加、⑤研究、⑥ホームページ・アストラルのブログ作成の活動を行いました。

(3) 【博士課程教育リーディングプログラム:災害看護グローバルリーダー養成プログラム】

●事業目的

「博士課程教育リーディングプログラム」は、優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、国内外の第一級の教員・学生を結集し、産・学・官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を支援し、最高学府に相応しい大学院の形成を推進する事業であり、文部科学省が実施しています。本学を責任大学として国公私立5大学が共同でプログラムの申請を行い、平成24年度に採択を受け、プログラム責任大学である高知県立大学にプログラム管理センターを置き、プログラムの管理運営をとりまとめている。

本プログラムの目的は、他の近接学問と相互に関連・連携しつつ、学術の理論および応用について産学官を視野に入れた研究を行い、特に災害看護学に関してその深奥を極め、人間の安全保障の進展に寄与することである。また、その目標は、日本ならびに世界で求められている災害看護に関する多くの課題に的確に対応し解決できる高度な実践能力かつ研究能力を兼ね備え、国際的・学際的指導力を発揮するグローバルリーダーを養成することである。

本プログラムの特徴は、5大学院の蓄積してきた資源を共有し、各大学院研究科に共同災害看護学専攻という共同教育課程を設置し、「災害看護グローバルリーダー(DNGL)養成プログラム」を策定し、共同責任体制で一貫した教育を行いつつ、各大学院はそれぞれの特色をさらに強化していくこと、および国内外とのインターンシップの実施やモデル事業提案を義務づけることである。

●プログラム参画大学

- ・高知県立大学大学院(プログラム責任大学)
- ・兵庫県立大学大学院
- ・千葉大学大学院
- ・東京医科歯科大学大学院
- ・日本赤十字看護大学大学院

●プログラム事業期間

平成24年度から平成30年度までの7年間

●交付金額

平成29年度 64,033千円

年度	プログラム担当教員				事業内容
	役職	所属	職名	氏名	
H27	プログラム責任大学長	学長	学長	野嶋 佐由美	平成29年度は、学生受入れ4年目の具体的な事業活動として、以下の5つを実施した。 1) 教育課程連絡協議会を中心に、5大学院共同災害看護学専攻にて、学生への災害看護学の教育を実施した。 2) 5大学院が連携して遠隔授業のためのテレビ会議および Learning Management System (LMS) を維持し、各大学で遠隔教育を実施した。 3) 遠隔シミュレーション教育の実施と教育内容・教育方法を精練した。 4) 国際的なネットワークと海外の大学との連携を強化し、国際学会、会議への参加によるグローバルリーダー育成に向けた教育研究を展開した。 5) 5大学院の特徴を踏まえた教育コンテンツを開発し、学際的な教育研究の実施、および産官学や被災地との連携を推進した。
	プログラム責任者	看護学研究科	教授	南 裕子	
	プログラム担当者		教授	山田 覚	
			教授	中山 洋子	
			教授	中野 綾美	
			教授	藤田 佐和	
			教授	竹崎 久美子	
			教授	池田 光徳	
			教授	大川 宣容	
			准教授	神原 咲子	
			准教授	Ngatu Nlandu Roger	
			人間生活学研究科	教授	
		教授	長澤 紀美子		

(4) 奨学寄附金受入状況

平成25年度 (単位:円)

		寄附を受けた者		金額	寄附者	研究題目
		実績なし				
合計		0件		0		

平成26年度 (単位:円)

		寄附を受けた者		金額	寄附者	研究題目
		実績なし				
合計		0件		0		

平成27年度 (単位:円)

		寄附を受けた者		金額	寄附者	研究題目
		実績なし				
合計		0件		0		

平成28年度 (単位:円)

		寄附を受けた者		金額	寄附者	研究題目
1	文化学部	准教授	清水 直樹	¥150,000	日本行政学会	選挙制度と政治的景気循環:日本の選挙と経済政策を根拠として
2	地域教育研究センター	講師	野辺 陽子	¥1,000,000	上廣倫理財団	養子と里子の「出自を知る権利」に関する社会学的研究-法律関係という変数に着目して-
3	社会福祉学部	講師	福間 隆康	¥200,000	生協総合研究所	中間的就労の活用による生活困窮者雇用拡大のための方策 グリーンコープ共同体の実践と効果の検証
合計		3件		¥1,350,000		

平成29年度 (単位:円)

		寄附を受けた者		金額	寄附者	研究題目
1	社会福祉学部	講師	福間隆康	¥640,000	ひと・健康・未来研究財団	精神障害者の就労継続に関する研究 -自己効力感に着目して
2	健康栄養学部	教授	小林 淳	¥200,000	高銀地域経済振興財団	高知県特産品のブランド価値を維持・上昇させるための含有量等分析法の確立
合計		3件		¥840,000		

(5) 受託研究費受入状況

平成25年度

(単位:円)

	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	健康栄養学部	教授	渡邊浩幸	4,042,500	高知県	県産未利用有用植物の活用に向けた農商工医連携基盤の構築と事業化モデル	平成25年4月1日～平成26年3月31日
2	社会福祉学部	講師	福間隆康	1,030,000	一般財団法人 全国勤労者福祉・ 共済振興協会	障がい者の雇用と企業の新しい人的資源管理システム	平成25年12月1日～平成27年4月30日
合計		2件		5,072,500			

平成26年度

(単位:円)

	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	看護学部	教授	神原咲子	2,860,000	独立行政法人科学技術振興機構	避難所情報システムの地域妥当性のための共同研究	平成26年5月7日～平成27年4月30日
2	健康栄養学部	教授	渡邊浩幸	2,957,814	高知県産業振興センター	飲酒による脳萎縮を軽減する健脳飲料の研究開発	平成27年1月26日～平成27年3月31日
3	健康栄養学部	助教	田中守	1,010,800	高知県	新しいタイプの抗アレルギー食品の開発を目指した素材探索の研究	平成26年9月24日～平成27年3月31日
合計		3件		6,828,614			

平成27年度

(単位:円)

	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	看護学部	教授	神原咲子	330,000 (うち間接30,000)	独立行政法人科学技術振興機構	避難所情報システムの地域妥当性のための共同研究	平成26年5月7日～平成27年4月30日
2	健康栄養学部	教授	渡邊浩幸	4,354,577	高知県産業振興センター	飲酒による脳萎縮を軽減する健脳飲料の研究開発	平成27年4月1日～平成28年3月31日
3	看護学部	教授	神原咲子	3,630,000 (うち間接330,000)	独立行政法人科学技術振興機構	避難移住地における感染症流行予防のための生活環境モニタリング	平成27年7月29日～平成28年6月30日
4	看護学部	特任講師	Ngatu Nlandu Roger	1,217,160 (うち間接117,863)	高知県	スジアオリ由来高分子多糖類を使用した機能性表示食品の開発	平成27年11月26日～平成28年3月31日
合計		4件		9,531,737			

平成28年度

(単位:円)

	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	健康栄養学部	教授	稲井玲子	216,000	南国市	食育の実践から「ことばの力」を高める～主体的・共働的に学ぶ学習(アクティブラーニング)を通して～	平成28年6月15日～平成29年2月15日
2	健康栄養学部	教授	渡邊浩幸	6,169,386	高知県商工労働部新産業推進課	高知県産学官連携産業創出研究推進事業(新規事業) 「食用カンナの多分野活用の研究」	平成28年9月2日～平成29年3月31日
3	看護学部	准教授	神原咲子	200,000	国立研究会開発法人 科学技術振興機構	避難移住地における感染症流行予防のための生活環境モニタリング	平成27年7月29日～平成28年6月30日
4	健康栄養学部	教授	渡邊浩幸	350,000	株式会社アミノエース	食品の賞味期限と脂質酸化	平成29年1月4日～平成29年3月3日
5	健康栄養学部	教授	渡邊浩幸	5,564,000	株式会社協和 株式会社あさの	生姜と体温上昇に関する研究	平成29年3月1日～平成30年3月31日
合計		5件		12,499,386			

平成29年度

(単位:円)

	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	健康栄養学部	教授	渡邊浩幸	5,564,000	株式会社協和 株式会社あさの	生姜と体温上昇に関する研究	平成29年3月1日～ 平成31年3月31日
2	健康栄養学部	教授	渡邊浩幸	6,053,723	高知県	食用カンナの多分野活用の研究	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日
3	健康栄養学部	教授	渡邊浩幸	500,000	公益財団法人高知県 牧野記念財団	牧野富太郎博士ゆかり植物の高度利用による食品・健康・観光産業の創出	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日
4	文化学部	教授	大村誠	144,000	情報・システム研究機構 国立極地研究所	合成開口レーダ(SAR)データの偏波特性に着目した南極域の観測手法の高度化	平成29年4月1日～ 平成32年3月31日
5	社会福祉学部	講師	鳩間亜希子	1,600,000	NPO法人介護人材 キャリア開発機構	在宅高齢者を支える介護人材のあり方等についての調査研究事業	平成29年7月1日～ 平成30年2月28日
6	健康栄養学部	教授	渡邊浩幸	3,000,000	株式会社協和	ブタ由来プラセンタ及びサイタイの生理活性評価	平成30年1月5日～ 平成30年3月30日
合計			9件	16,861,723			

(6) 受託事業費受入状況

(単位:円)

H25	代表教員			金額	委託者	業務名	期間
1	看護学部	教授	森下 安子	2,066,442	社団法人 吾川郡医師会	平成25年度退院移行支援コンサルテーション業務	平成25年4月1日～平成26年3月31日
2	看護学部	教授	森下 安子	3,875,000	高知県	平成25年度高知県介護職員喀痰吸引等研修	平成25年5月30日～平成26年3月31日
3	看護学部	教授	森下 安子	1,190,000	高知県	平成25年度地域医療(在宅での看取りと他職種連携)フォーラム開催委託業務	平成25年6月25日～平成26年3月31日
4	看護学部	教授	森下 安子	602,784	社団法人 吾川郡医師会	「中央西地域包括ケアシステム構築事業」事業評価調査結果の分析業務	平成25年10月11日～平成26年2月28日
合計		4件		7,734,226			

H26	代表教員			金額	委託者	業務名	期間
1	看護学部	教授	森下 安子	1,965,000	高知県	平成26年度地域医療フォーラム開催委託業務	平成26年7月7日～平成27年3月31日
2	看護学部	教授	森下 安子	3,425,000	高知県	平成26年度高知県介護職員喀痰吸引等研修	平成26年5月16日～平成27年3月31日
3	看護学部	教授	森下 安子	982,800	高知県	地域医療連携体制強化業務	平成26年4月1日～平成27年3月31日
合計		4件		6,372,800			

H27	代表教員			金額	委託者	業務名	期間
1	看護学部	教授	森下 安子	2,112,000	高知県	平成27年度地域医療フォーラム開催委託業務	平成27年11月18日～平成28年3月31日
2	看護学部	教授	森下 安子	3,425,000	高知県	平成27年度高知県介護職員喀痰吸引等研修	平成27年5月8日～平成28年3月31日
3	看護学部	教授	森下 安子	982,800	高知県	地域医療連携体制強化業務	平成27年4月1日～平成28年3月31日
合計		3件		6,519,800			

H28	代表教員			金額	委託者	業務名	期間
1	看護学部	教授	森下 安子	3,425,000	高知県	平成28年度高知県介護職員喀痰吸引等研修事業	平成28年4月1日～平成29年3月31日
2	社会福祉学部	講師	河内 康文	1,906,000	高知県地域福祉部 地域福祉政策課	高知県キャリア教育推進事業	平成28年5月17日～平成29年3月31日
3	看護学部	教授	森下 安子	5,691,395	高知県中央西 福祉保健所	退院支援体制推進事業	平成28年4月14日～平成29年3月31日
合計		3件		11,022,395			

H29	代表教員			金額	委託者	業務名	期間
1	看護学部	教授	森下 安子	3,425,000	高知県	平成29年度高知県介護職員喀痰吸引等研修事業	平成29年5月19日～平成30年3月31日
2	社会福祉学部	講師	河内 康文	2,934,000	高知県地域福祉部 地域福祉政策課	高知県キャリア教育推進事業	平成29年6月6日～平成30年3月31日
3	看護学部	教授	森下 安子	8,967,000	高知県健康福祉部医 療政策課	退院支援事業	平成29年4月25日～平成30年3月31日
合計		3件		15,326,000			

(7) その他受入状況

平成25年度

(単位:円)

	研究者			金額	相手先	研究題目	期間
1	看護学部	准教授	神原 咲子	216,570	公益財団法人交通エ コロジー・モビリティ財 団	多文化共生社会の災害情報に対す るバリアフリーモデルの構築	平成25年4月1日～ 平成26年2月28日
合計		1件		216,570			

平成26年度

(単位:円)

	研究者			金額	相手先	研究題目	期間
	実績なし						
合計		0件		0			

平成27年度

(単位:円)

	研究者			金額	相手先	研究題目・事業名	期間
1	森下 安子			20,000,000	高知県	平成27年度高知県中山間地域等訪 問看護師育成講座	平成27年5月12日～ 平成28年3月31日
1	文化学部	准教授	宇都宮 千穂	200,000	高銀地域経済振興財 団	高知県における移住促進政策と移住 者の実態に関する研究	平成28年3月3日～ 平成29年3月2日
合計		1件		20,200,000			

平成28年度

(単位:円)

	研究者			金額	相手先	事業名	期間
1	森下 安子			20,000,000	高知県	平成28年度高知県中山間地域等訪 問看護師育成講座	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日
合計		1件		20,000,000			

平成29年度

(単位:円)

	研究者			金額	相手先	事業名	期間
1	森下 安子			20,000,000	高知県	平成29年度高知県中山間地域等訪 問看護師育成講座	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日
合計		1件		20,000,000			

6 学長特別枠助成事業等の状況

【学長特別枠助成事業実績(平成29年度)】

(単位:千円)

事業名	事業内容	助成費	備考
文化学部	【国外】旅費:国立政治大学法学院での研修(10/1-3/31 台湾)	1,500	
看護学部	HPデスクトップ型PC EliteDesk 800 G3 SF×10、キャンA3モノクロレーザープリンタ×2他	2,299	
看護学部	【国外旅費】サミュエルメリット大学大学院での研修(H30.1.8-3.3アメリカ)	1,023	
看護学部	VLISUALEARN4.6 映像コンテンツ(目で見える病気 第2版)全15巻	982	
看護学部	レサシアン withQCPR半身	223	
看護学部	リンクボックスPLUS一式	192	
看護学部	呼吸音聴診シミュレータ“ラングⅡ” 京都科学11407-000	2,041	
社会福祉学部	社会福祉学部創設20周年記念事業	300	
社会福祉学部	E102,E103 ディスプレイ	1,404	
教育研究戦略課	第4回高知県農商工連携交流会	20	
教育研究戦略課	草刈り機(燃料、ガソリン携帯缶)	70	
健康栄養学部	エプソン プロジェクター EB-5520W リアル解像度WXGA・設置料金一式	341	
看護学研究科	看護学研究科創設20周年記念事業	300	
国際交流センター	エルムズ大学との国際交流協定再締結と協議	1,364	
国際交流センター	交換留学生 宿舍整備	334	
教務課	小川長春館 バドミントン支柱 BD502	266	
学生・就職支援課	バスケット台点検費用として	194	
学生支援課(永)	あふち寮の機器買い替え・修繕等	986	
入試課(池)	ISK 耐火金庫(サイズW930×D708×H1825)	998	
図書情報課(池)	転倒防止対策	2,074	
図書情報課(池)	インターネット接続用ルーター(予備機)	432	
理事等活動経費	液晶モニター、ディスプレイスタンド(設置費込)	156	
財務施設課	池キャンパス 修繕(南駐車場、便座取替)	648	

事業名	事業内容	助成費	備考
財務施設部	非接触カードリーダー 2台 (社会福祉学部棟1階南口屋内・屋外)	443	
財務施設部	平成29年度池キャンパス施設管理計画策定準備に係る技術支援業務	999	
財務施設部	旅行依頼利用範囲拡大対応(全教職員)	540	
合 計		20,129	

【学長助成事業実績(平成29年度)】

(単位:千円)

事業名	事業内容	助成費	備考
平成 29 年度 高知県立大学 戦略的研究推進プロジェクト	高知県立大学の学術研究の充実及び高知県の課題解決を目指し、特に重点的に本学を特徴づけるテーマ1～3のいずれかにおいて、教育研究力を格段に高めようとする取り組みに対し、経費を補助することにより、教育・研究のイノベーションを促すことを目指す。	3,825	
合 計		3,825	